

会議名称：令和元年度7月期古賀市社会教育委員の会議

日 時：令和元年7月31日（水） 19時～21時30分

場 所：リーパスプラザこが 交流館103会議室

主な議題：「第6回古賀市生涯学習笑顔のつどい」について

傍聴者数：なし

出席者：松本委員、平島委員、角森委員、村山委員、井浦委員

（以上委員5名）

青谷教育部長、中村生涯学習推進課長、村上参事補佐、小嶋、森田

欠席者：國友委員、橋爪委員、丸井委員、秋山委員

事務局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：レジュメ等

会議内容：以下のとおり

松本議長：

ただいまから7月の社会教育委員の会議を始めたいと思います。本日は、國友委員、橋爪委員が欠席と、丸井委員、秋山委員が急遽欠席とのことでした。

今日は笑顔のつどいについて、分科会の進捗具合の報告と、アンケートや具体的な我々の人の動き等の詳細を詰めていきたいと思っています。

冒頭に、去年から委員が4人、事務局2人が変わっているため、笑顔のつどいがどういう趣旨で始まったものか、説明しないまま進んでいるようなので、第1回のオープニング・エンディングを見ていただいて、その趣旨等を知っていただきたいと思っています。

～～映像～～

6年前に始めて、全くのゼロからのスタートで、オープニングは笑顔を、エンディングは古賀市の良さをみなさんにわかってもらおう、というわけですね。

初めは有名な方を招いての講演会などの案も出しましたが、あくまでも生涯学習第2次推進計画に沿って、古賀市の生涯学習・社会教育の実践を広めていこう、伝え合おう、学びあおうということを重視して、今のような形式となり、地元の皆さんに発表してもらい、自分たちも参加しよう、やってみようということをコンセプトとして、地元の活躍を発掘して広めることをずっと大切にしていこうと思っています。

ということを踏まえたくて、事務局の方から議案をお願いします。

事務局：

ではアンケートにつきまして、前回会議にてたたき台を事務局の方で作ってまいりましたので、これに皆様のご意見を加えながら完成していきたいと思っています。

資料の2枚目をご覧ください。10個の設問としており、6番までは前回とほぼ変更ありません。

3番は行政区を聞いておりましたが、校区を聞くようにしております。

4番の所属団体も、チラシを多く配布した団体を中心に、あとはその他に個別に書いていただくというように、ある程度絞っております。

それから、7番以降は分科会について、どの分科会に参加したか、その分科会はどうだったかと、ご意見を自由記述としております。

10番につきましては、今後取り上げてほしいテーマをという、次の笑顔のつどいにつながるような設問を設けております。

1. 子育て、2. 地域とのかかわり、3. コミュニティスクール、4. 家庭教育、5以降を思いつかなかったのですが、このような設問はいかがでしょうか、皆様のご意見を賜りたいと思っております。

それから、一番の工夫といたしましては、アンケート右上、大きくQRコードを載せております。

多くの方がスマートフォンをご利用でいらっしゃると思いますので、このQRコードを利用しますと、この内容であれば2分程度で入力終了となっておりますので、スマートフォンをお持ちの方は使っただいて集計にもご協力いただいて、もちろん紙は全員にお配りしますので、いろいろ書きたいという方には紙ベースでと、二本立てでいったらいかがかなと考えております。

それから井浦委員の方からアンケートについての案を事前にいただいております。

分科会を設ける構成はどうだったかという設問を設けてはどうかというご意見、それから全体会報告の子どもたちの現状から、あなたはどのようなことができそうですか、という次の自分の変容・行動に関わるような設問を設けてはいかがでしょうか、というご意見をいただいております。

以上でアンケートについてのご説明は以上になります。

松本議長：

変更点は3番、行政区を校区へ、それから分科会が始まることで7番以降、それではみなさんの方からご意見はありますか？

角森委員：

後半、分科会については良かったというより参考になったという文言ではいかがでしょうか。

それから昨年、性別ははずしていると思います。

松本議長：

性別は笑顔のつどいに関して特に必要ではないと思いますので、外していいと思います。

8番、参考になったということについてはどうでしょうか。（意見なし）ではよろしいですね。

9番については私からですが、分科会だけに絞る必要はないと思いますので、「全体会・分科会」として自由に記述してもらおうということではよろしいですか？

井浦委員：

ひとつ補足です。全体会で子どもたちの現状の報告を受けて分科会で地域の活動を見て、というつながりから、分科会に参加して、あなたはどのようなことができそうですか、例えば自分や知り合いの子どもたちを参加させたい、地域で活動している団体に自分が参加したい、あるいは自分たちで新たな活動の機会を作りたいとか、そういう発展性を持たれた方にいろんな活動紹介したい、そういった選択肢から選んでもらってはいかがでしょうか。

アンケートはなるべく1枚でおさまるくらいの量がいいとは思いますが・・・。

事務局：

大丈夫です。入ります。

松本議長：

ではそういうことをお願いします。

それから行政区から校区ということについては、どういった理由でしょうか。

事務局：

今、コミュニティ単位でどのくらいの盛り上がりがあるか、参加率を問うなど校区で取りまとめる統計調査が多くございます。そのため、他の事業とのクロス統計も今後考えることができると思いますので、校区単位を提案させていただきました。

角森委員：

(去年の統計結果を見ながら) 昨年から小学校単位になっていませんか？

事務局：

もしかしたら行政区で聞いて、校区単位に集計しなおしている可能性がございます。

その流れからすると、校区へ変更するというところでよろしいのではないかと思います。

(一同同意)

それでは、10番の選択肢の追加についてはいかがでしょうか。

集まった方々の興味関心がどこにあるのかを拾い上げることができれば、次につながると思うのですが。

松本議長：

意見が出ないので、事務局でなにか考えてください。

事務局：

ではこちらで考えて追加いたします。

平島委員：

質問なのですが、このQRコードは、入力するとどこかに集計されるのですか？

事務局：

はい、入力すると瞬時に集計ソフトにてデータが蓄積されます。

角森委員：

どちらかという、回答する方より集計する方の利便性を考えているのかな、と。

事務局：

いえ、どちらかといえば答える方の利便性ですね、

平島委員：

つどいに来られる方の年齢層から、使えない方に教えなくてはならないと思ってですね。

事務局：

分科会時には事務局が各分科会に回りますので、その際に説明等もさせていただきます。

何より、実験的な試みですので、QRコードのみでとは考えておりません。

しばらくはどちらでも好きな方法でお答えくださいという、併用していくつもりです。

松本議長：

狙いはアンケートの回収率を上げるため、というわけですね。

事務局：

そうです。そして、慣れればQRコード入力の方が簡単だと思います。

先ほど井浦委員が言われたように、設問が多いと回答の信頼性が落ちる傾向がございます。

回答方法が簡単だと、突っ込んだ質問にも答えていただけるような例もございます。

角森委員：

オープンキャンパスでもこの形式ですね。高校生は全て、お母さん方は紙の方もいらっしゃると思いますが。

松本議長：

では、新しい取り組みに期待しましょう。

次の議題に進みましょう。

事務局：

3枚目の資料をご覧ください。

当日の流れですが、9時半から開場・受付、来賓案内等を経まして、10時からオープニング、議長挨拶に続きまして吹奏楽発表。ここに15分予定しております。

その後市長挨拶、祝電披露を國友委員、そして実践報告に続きます。

このステージ設営ですが、マイクスタンドの設置程度、あとは吹奏楽のドラム撤去等が考えられますが、いずれも数分で済むそうですので、さほどの人数は不要と考えます。

発表後、まとめを井浦委員、第1部終了を教育長挨拶となります。

その後分科会への移動補助と、分科会に行かない方のアンケート回収が必要です。

分科会案内は参加者にお渡しする封筒の表に何階であるかなどわかりやすく記載する予定です。

ひとつの懸念事項として、定員オーバーが考えられますので、フリーの事務局が他の分科会への案内等させていただきたいと思っております。

この移動にやはり10分ほど必要と思われるので、各分科会の開始時刻は10分から、内容は取りまとめシートにて記録させていただきたいと思っております。

なお、記録に専念していただくため、写真撮影や人数把握等は事務局が各部屋に赴いて行います。

お願いですが、アンケートの記入時間を閉会までに取っていただいて、最後に回収をしていただきたいと思います。

これが当日の流れになりますので、各分科会のリハーサル・セッティングは、調整の上前日に行ってください。

松本議長：

当日スケジュールについてなにかございますか。

角森委員：

第1部最初に今年から分科会形式になること、第二部がありますよと紹介した方がよろしいのではないかと。議長挨拶で行われるのであれば、その分例年より長めに時間を取った方がいいのではないのでしょうか。

あとは、第1部の最後にスクリーンに会場案内を映した方がいいと思います。

松本議長：

この時間があれば大丈夫です。

平島委員：

吹奏楽は総勢何名でしょうか

ステージに乗り切らないのではないのでしょうか。

前列をだいぶ、5列ほど空ける必要がありますので、座席の数が減りますね。

事務局：

総勢50名です。ただし、合唱のみの子もおり、その子たちは舞台ではなく前列や、場合によっては横も使う予定です。

前列をあけても150～180席は確保できる予定です。

角森委員：

舞台袖から入って反対側に抜ける、という感じでしょうか。それなら委員が案内につかないといけませんね。

事務局：

ステージ移動の係にそれもお願いしたいと思っております。

松本議長：

では会場移動をスムーズにするためのスクリーン投影をお願いします。

各委員には、記録シートの記入、前日リハーサルを各々で調整していただきたいと思います。

では、担当割振りに移りたいと思います。

司会は國友委員、コーディネーターを井浦先生にお願いしますので、ステージ移動は文化協会で慣れていらっしゃる平島さんをお願いします。

村山さんは（立候補により）ステージ移動、古賀中吹奏楽部との合図等もお願いします。

（立候補により）角森委員は受付でお願いします。後は欠席なので、事務局で割り振りをお願いします。

角森委員：

団体さんなどがわかりませんので、昨年のように事務局にも受付をお願いします。

松本議長：

では、残りについては8月の会議で確認したいと思います。続けてください。

会場一覧ですが、前日・当日の各部屋の割り振りと利用可能時間ですね？

これを参考に各部会でリハーサルをしてください。

それから、当日の全体会の口述書の作成を事務局にお願いしたい。

事務局：

こちらで作成いたします。

平島委員：

分科会のリハーサルと全体会のリハーサルはいつするのでしょうか。時間を決めた方がいいのでは。

古賀中のリハーサルが何時にあるかを教えてください。

事務局：

吹奏楽リハーサルは15時から17時のあいだと伺っていますが詳細は決まっておりません。

松本議長：

他の分科会が決まっているのが、東小は13時、おそらのしたで♪が17時から、他のところは決まり次第事務局へ伝えてください。

それ次第で、できるだけ全員集まった状態で全体会のリハーサルを行いたいと思います。

事務局：

全体会の一番の困難は、吹奏楽をいかにスムーズに出し入れするかに限ると思いますので、そこは学校の先生と今後もしっかりと調整したいと思います。

松本議長：

では次回8月会議にて時間を確認したいと思います。

次に、各分科会の進捗状況を各委員からお願いします。

井浦委員：

星の子文庫です。協議の仕方ですが、まずは発表をしていただき、その後子どもの居場所に関わる活動をされている方と、保護者の悩みをお持ちの方と、大きく二つに分かれて意見交換をしていただく構成としています。

角森委員：

おそらのしたで♪は、課題を含めた映像での10分程度の発表と、その後は人数にもよりますが、4～5人のグループでテーマはその場で決めながら、いろいろと話し合っていたくという構成を考えています。

村山委員：

鹿部子育てサロンは、発表形式は実演形式といたします。二部屋使いまして、メインを304とし、泣く子がいたら落ち着くまで303へ移動してもらったり、遊具等も303にそろえて終わってからも少し子どもたちを遊ばせたり、見てもらえるようにしております。

協議の仕方は対面形式で、代表の森さんだけでなく、活動している皆さんも来ていただいて、歌とお話、絵本の読み聞かせともう一つを考えております。

大事なところはサロンの良さを幼児の視点、親の視点、ボランティア視点からまとめていきたいということです。

森さんのまとめから、司会の秋山さん主導で同じような団体さんとの交流を行い、私が総括するという流れで、アンケートの時間も取りつつ時間内に進めていきたいと思います。

発表は慣れていないと仰られますが、意欲的な活動をなさっておられますし、揺るぎないものをお持ち



の方なので、上手に伝えていただければと思います。

特に仰られたのが、全世帯に回覧やチラシが届かず、必要な方に必要な情報が届かないことがあるというところで、私も鹿部区のことや行政の仕組みはわかりませんが、そういうお話もされるかもしれません。

平島委員：

東小放課後子ども広場です。発表は原稿も含めパワーポイントをばっちり作っておりますので、タイムスケジュールもタイトではありますが、決定しております。

私は誤解していたのですが、こういう活動をやっていない地区にご紹介すると思っておりましたが、実際は全ての地区で既にこういった活動はなされているということで、地域ごとの問題点や工夫などをこちらからお聞きして、またみんなで共有し、話し合うという分科会になるようですね。

少人数グループを作り、模造紙にふせんを貼っていくという形を考えていますが、時間配分などリハーサルできちんと確認していこうと思います。

松本議長：

北中校区もりあげ隊ですが、発表形態はプレゼン20分、内容は田中先生と生徒さんの生の声を聴いてもらうため、できるだけ生徒さんに出席してもらうようにしています。

最近では中学生も自主的に地域に貢献しており、特に総合的学習カリキュラムでなく生徒会有志が自主的に全校生徒に呼びかけ、盛り上げているということを強調しようと思います。

協議の仕方はキャッチボールができるよう、私が突撃インタビューをしながら生の声を拾い上げていこうと思います。

もしくは北中の生徒さんを前に並べてパネルディスカッション形式にしてもいいのではと、これからも一度協議をして具体的な方法を詰めていきます。

討議の3本柱は「地域の人との交流」「ふるさと古賀への愛着心」「ボランティア精神の高揚」として、これにからめて進めていこうと思っております。

これですべての団体の進捗状況が出ましたが、皆さん他の分科会に対し何かご意見はありませんか？

(特に意見なし)

事務局から何かありませんか？

事務局：

分科会の写真撮影は事務局で行いますが、写真を嫌がられる方もおられますので、会の冒頭で写真撮影

のお知らせをお願いいたします。

なお、写真はそのまま広報に載せたりということはありません。あくまで記録用として利用したいと思えます。

また、団体さんが写真をご希望であればCDに焼いてお渡しできますので、打ち合わせの時にでもお伝えください。

角森委員：

部屋割りが決まりましたので、各々の部屋の収容人数の確認をしたいのですが。

事務局：

3階鹿部子育てサロンさんは303・304が48人ずつ、東小放課後子ども広場さんは305で22人、おそらのしたで♪さんは306で36人、北中校区もりあげ隊さんは1階103で48人。

それからすみません、星の子文庫さんですが、207を急遽指定したため前日は既に一般団体の予約が入っておりました。このままでは前日準備とリハーサルができませんので、もしよろしければ、207より収容人数の多い302洋室であれば2日間使用できますので、そちらに移動していただくことは可能でしょうか。

井浦委員：

加藤先生がおられないので何とも言えませんが、確認します。大丈夫だと思います。部屋が使えないというのであれば、仕方ないので。

事務局：

大変申し訳ございません。よろしくをお願いいたします。302は机席で57人です。

松本議長：

では、次の議題に進みます。

事務局：

ではその他、というところですが、現在の広報状況の一覧と、広報こが8月号のコピーをつけておりま

す。

かなり広範にわたって周知文書をお渡しできたと思います。

特に小中学校に関しましては教頭会のご協力を得まして全員にお配りできました。この効果は大きいと思います。以上ご報告です。

松本議長：

この他に委員の皆さんはどこか周知したところがございますか？

角森委員：

子ども子育て会議がありました。その時点ではまだチラシができておりませんでしたので、口頭でお知らせしております。良かったら次回8月21日14時からありますので、チラシを子育て支援課にお届けしていただけたらと思います。

松本議長：

明日西校区コミュニティ会議11部、8月22日に役員会で30部、人権擁護委員と行政相談員会議で10部、あとは教育委員会にも周知しようと思っております。

皆さんのお手元にも事務局から20部お配りしておりますので、周知をよろしく願います。

次は歓送迎会の件ですね。

事務局：

歓送迎会と打ち上げを兼ねまして、1日の13:15から「たちかわ」にて、非常にタイトなスケジュールとなっておりますが、できるだけ片づけを早く済ませまして、熱気の冷めないうちに行いたいと思います。

なお、歓送迎会ですので、前社会教育委員の先生方にもお声かけしたいと思います。

また、参加された団体さん方にもお声かけはいたしますが、無理にお誘いはいたしません。

松本議長：

この日に写真撮影をするというお話でしたか？

事務局：

はい、広報が11月号にて社会教育委員の紹介を掲載いたしますので、分科会の片づけが終わりましたら皆さん一旦多目的ホールにお戻りいただき、集合写真を撮影させていただいて、それから皆で歓送迎

会場に向かいたいと思いますので、よろしく願いいたします。

松本議長：

以上で第6回生涯学習笑顔のつどいについての協議は終わりたいと思います。

ではその他に移りたいと思います。

各委員さんからお知らせはございませんか？

事務局：

本日欠席の國友委員より、前回の笑顔のつどいに参加いただいた「なないろハーモニー」さんの初めてのコンサートのお知らせをいただいておりますので、よろしく願いいたします。

松本議長：

事務局からございますか？

事務局：

別紙でお配りしております八女地区社会教育委員連絡協議会の先進地視察が今年の9月19日、10時から2時間程度おいでになります。

八女地区は、八女市・筑後市・広川町の2市1町で構成されており、福岡教育事務所からの紹介で笑顔のつどいという他にはない取り組みをされている古賀市への視察を希望されております。

皆さん大変関心をお持ちのようで、社会教育委員がどのように笑顔のつどいに関わっているのか、また市への提言についての取り組み等をお聞きしたいとのことです。

各市町から10人、合計30人程度で視察に来られるそうです。

事前に委員の皆様に向いましたところ、松本委員、平島委員、國友委員、村山委員、井浦委員、秋山委員の6名の委員にご協力をいただけたとのことで大変感謝しております。

橋爪委員はただいま社会教育主事講習を受講中ですので、講義が終わり次第、学校と協議してからお答えしたいとのことでした。

それからもう1点、皆様のお手元に小さな紙をお渡ししております。

社会教育委員のメーリングリストを作成して、細々した連絡事項等、例えばリハーサルの日時が何時からになったとか、次の会議の会場はどこだとか、なるべく普段使いのツールでやり取りができればと考えておりますので、ご協力をお願いしたいと思います。

なお、携帯よりパソコンメールの方がよく見るという方はそちらを登録していただいても構いません。

松本議長：

先進地視察につきまして補足です。

事務局と協議して、当日のプログラムの原案を作成中ですが、「笑顔のつどい」と「提言」、それから「社会教育委員の活動の概要」についての3点を発表しようと思っております。

発表を前半50分程度、休憩をはさみ後半30分を質問・意見・交流に充てるようにして、参加してくれる委員の役割分担を決めまして、発表3名、開会閉会のことばを1名ずつと考えております。

素案ができましたら事務局から日程調整をしてもらい、リハーサルをしたいと思っておりますので、よろしく願います。

事務局

もう1点、青少年育成課より青少年育成事業活動報告が上がっておりますので、部長から説明いたします。

青谷部長：

皆様お疲れ様です。私の方から青少年育成課からの情報提供をいたします。

青少年育成事業活動報告といたしまして、地域を基盤に活動しております「通学合宿事業」と「寺子屋事業」につきまして進捗状況をご報告いたします。

通学合宿につきましては前回の笑顔のつどいでも青柳の通学合宿を発表させていただきましたが、今年度新たに花鶴小学校区の通学合宿を立ち上げることができました。

併せまして青柳小・西小、小野小でもそれぞれ行いますので、委員の皆様ご都合がよろしければのぞいていただければと思います。

また、寺子屋事業につきまして、これはほとんど1日単位の事業ですが、各学校の主に体育館で子どもたちが集団で交流活動を行いますので、併せてよろしく願います。

今後も青少年育成課としましては、地域の子どもの居場所づくりの活動を上げていくように取り組んでいきますので、適時情報提供をしていきたいと思っております。

もう1点、口頭での情報提供となりますが、小中学校の空調設備の工事を着工しており、できるだけ夏休みの間に終わらせたいと思っておりますが、受電設備、キュービクルにつきましては冬休みの工事となりますので、最終的な工期は3月10日と契約上となっておりますが、実際の稼働は来年度の夏から、となる見通しでございます。

松本議長：

西小学校の通学合宿の補足ですが、今回の参加予定は34名、今年度から新しい試みで、今まではお風呂は薬王寺温泉までバスで行っていたのですが、地域とのつながりを深めようということで、鹿部区日吉台区で1日だけもらい湯を行おうと区長さんたちと協議中です。

では次回の開催日程をお願いします。

事務局：

その前に1点、10月4日の福岡ブロック社会教育委員の研修会のご案内をさせていただきます。

詳細はまだ決まっておきませんので日程だけのご案内となりますが、ミリカローデン那珂川という施設で行われます。

九州ブロックが笑顔のつどいのために参加できませんでしたので、できるだけ多くの委員さんに参加していただけたらと思います。

松本議長：

13時15分からだったと思います。今回は久山町さんの発表がありますので、応援もかねて皆さんさんかせていただけたらと思います。

事務局：

では次回の日程ですが、笑顔のつどいのリハーサルの直前にはなりますが、27日か30日で決めたいと思います。

今いる委員さんでは、30日に都合が悪い人が2名ということですね。欠席の委員には事務局より日程調整をお願いします。

事務局：

はい、ではできるだけ27日に開催できるよう調整しまして後日ご連絡させていただきます。

松本議長：

では全ての協議が終わりましたので、副議長から閉会の挨拶をお願いします。

角森委員：

皆さんお疲れ様でした。だんだん笑顔のつどいが近づいてきましたので、皆さん暑い中お身体には気を付けてください。